



Environmental Management Report

環境経営レポート

第 26 期

(活動期間 2022年10月1日～2023年9月30日)



株式会社パルコミュニケーションズ / 株式会社パルエナジーマネジメント

作成日：2024年1月19日

更新日：2024年4月02日

目次

1. 環境経営方針	2
2. グループ企業の概要	3
3. エコアクション 21 実施体制	5
4. 環境経営目標と実績	7
5. 環境経営計画及び取組結果と評価、次年度の取組内容	9
6. 実施している取り組みの具体例.....	11
7. エコ事業に関する取り組みと実績	12
8. 環境関連法規等への違反、訴訟等の有無.....	14
9. 全体の評価と見直し	15

1. 環境経営方針

基本理念と目的

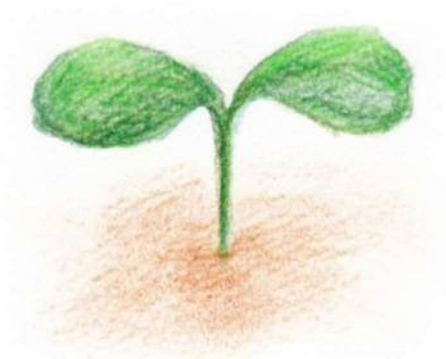
パルコミュニケーションズグループは、環境問題が地球規模または次世代へ及ぶ人類最大の問題と認識し、未来の子供たちを想う家族「親」としての発想をもって、健全で夢のある事業活動を通じ、社内と地域経済発展において、「低炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」の形成を基に、持続可能な社会の発展に向けて努力して参ります。

パルコミュニケーションズグループはこのような基本理念に従い、また以下の環境経営方針に基づいて継続的な改善を図りつつ当社の環境経営方針を遵守します。

環境経営方針

1. 環境関連法規を含む、全ての法を遵守し維持に努めます。
2. 自然循環型エネルギー社会を目指し、太陽光発電所などの自然環境型エネルギー事業を通じ CO₂ 削減に貢献します。
3. 環境に優しい商品を選択し、購入に努めます。
4. 化石エネルギーの使用を減らし、CO₂ の削減に努めます。
5. 貴重な水資源の節約に努め無駄を無くします。
6. 廃棄物発生を抑制し、可能な限り再利用とリサイクルに取り組み、資源の有効活用に努めます。
7. 事業活動に適応される環境法規制を厳守します。

この環境経営方針は、全従業員に周知すると共に、広く開示いたします。



制定日 2013年11月18日
改定日 2021年4月11日
株式会社パルコミュニケーションズ
株式会社パルエナジーマネジメント
代表取締役社長 五十嵐 修

2. グループ企業の概要

株式会社パルコミュニケーションズ

[本社・新潟営業所]

〒950-0853 新潟県新潟市東区東明 1 丁目 9-8

TEL 025-286-1225 FAX 025-286-1226

[東京営業所]

〒144-0054 東京都大田区新蒲田 2-20-1

TEL 03-6428-7547 FAX 03-6428-7548



- 代表者 : 代表取締役社長 五十嵐 修
- 設立年月日 : 1997 年 10 月
- 資本金 : 1,000 万円
- 従業員数 : 19 名
- 加盟団体 : 緊急地震速報利用者協議会 日本 CATV 技術協会 会員
新潟県太陽光発電導入促進協議会 会員
一般財団法人「おらって」にいがた市民エネルギー協議会 加盟
新潟市異業種交流研究会協同組合
- 許可番号 : 電気通信工事業 新潟県知事許可 (般-30) 第 41533 号
電気工事業 新潟県知事許可 (般-30) 第 41533 号
トキの森クレジット NIG-200-000-000-028-841
~NIG-200-000-000-028-841
阿賀悠久の森クレジット 200-000-000-043-737
~200-000-000-043-737
- 【対象範囲】 (株)パルコミュニケーションズ本社、東京営業所
(株)パルエナジーマネジメント
- 事業内容 : 電気通信工事
…… LED、ペイテレビシステム、
CATV、CATV インターネット、緊急地震速報
電波障害調査
…… 電波障害コンサルタント、机上検討、現地測定調査
太陽光発電
…… 太陽光発電システム施工、太陽光発電所事業
電気自動車充電設備工事
…… 充電設備設置工事

株式会社パルエナジーマネジメント

[本社]

〒950-0853 新潟県新潟市東区東明 1 丁目 9-8

TEL 025-286-1225 FAX 025-286-1226



代表者 : 代表 五十嵐 修

設立年月日 : 2012 年 12 月

資本金 : 900 万円

事業内容 : 太陽光発電所事業

所有発電所 : ソーラーステーション木島 460kW (長野県飯山市)
ソーラーヒルズ小諸 EAST 50kW (長野県小諸市)
ソーラーヒルズ小諸 WEST 50kW (長野県小諸市)
ソーラールーフ中野江部 50kW (長野県中野市)
ソーラールーフ千曲 40kW (長野県千曲市)
ソーラールーフ柳原 36kW (長野県長野市)
ソーラールーフ東鶴賀 25kW (長野県長野市東鶴賀)
ソーラールーフ御厨 20kW (長野県長野市御厨)
ソーラールーフ須坂変電所 11kW (長野県須坂市)

以上、長野県内

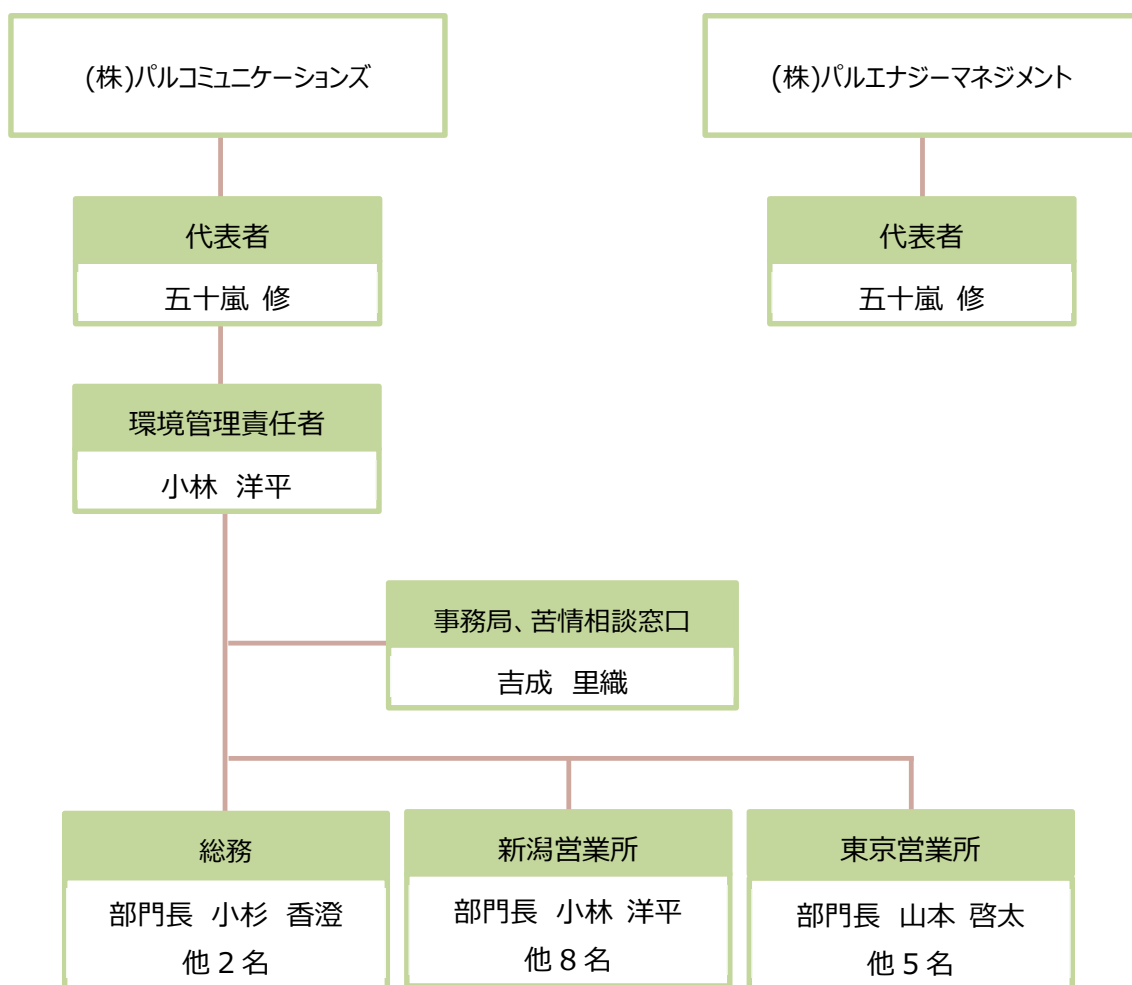
ソーラーステーション胎内山王 1 50kW (新潟県胎内市)
ソーラーステーション胎内山王 2 50kW (新潟県胎内市)
ソーラーステーション胎内高畑 50kW (新潟県胎内市)

以上、新潟県内

3. エコアクション 21 実施体制

パルコミュニケーションズグループ体制図

以下に示す全組織、全活動が認証登録範囲となります。



※(株)パルコミュニケーションズの実施体制で、(株)パルエナジーマネジメントについてもサポートしています

	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能・技術者を用意 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・実施体制の構築及び経営資源（人、もの、資金、情報）の用意
環境管理 責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・活動計画書を確認 ・環境経営目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況の定期的な評価・確認・指示 ・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
事務局、苦 情相談窓口	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、EA21 推進委員会の事務局 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・「環境関連法規等とりまとめ表」に基づく順守評価の実施 ・環境経営目標・環境活動計画書原案の作成 ・環境経営活動の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付） ・文書・記録の保管 （法・条例で規定する場合を除き、記録の保管期限は 3 年とし、その後廃棄）
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・必要と判断された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 環境経営目標と実績

中期目標

パルコミュニケーションズグループの環境経営目標（全組織対象）は、次表に示す通り、基準年度実績をもとに3か年目標として策定しています。

環境項目		基準年度	中期目標（削減値）		
		24期 2020.10~2021.9	25期 2021.10~2022.9	26期 2022.10~2023.9	27期 2023.10~2024.9
二酸化炭素排出量削減	CO ₂ 排出量 (kg) ※1	63,643	63,007 (1%削減)	62,370 (2%削減)	61,734 (3%削減)
	電気使用量 (kWh)	20,178	19,976 (1%削減)	19,774 (2%削減)	19,573 (3%削減)
	ガソリン (ℓ)	13,729	13,592 (1%削減)	13,455 (2%削減)	13,317 (3%削減)
	軽油 (ℓ)	7,706	7,629 (1%削減)	7,552 (2%削減)	7,475 (3%削減)
	水使用量 (m ³)	99	98 (1%削減)	97 (2%削減)	96 (3%削減)
	産業廃棄物 (kg)	12,596	12,470 (1%削減)	12,344 (2%削減)	12,192 (3%削減)
	一般廃棄物 (kg)	526.8	521.5 (1%削減)	516.2 (2%削減)	511.0 (3%削減)
	グリーン購入 (%) ※2	42.3	42.7 (1%増加)	43.1 (2%増加)	43.6 (3%増加)
	エコ製品 (販売・工事件数)	259	262 (1%増加)	264 (2%増加)	267 (3%増加)

↑
今回の振り返り
対象期間

※1 電力の排出係数は、本社は(株)Loop、東京営業所分は東京電力エナジーパートナー(株)の令和1年度実排出係数を各年度に採用しました。

・(株)Loop : 0.544[kg-CO₂/kwh]

・東京電力エナジーパートナー(株) : 0.441[kg-CO₂/kwh]

※2 グリーン購入の割合は(グリーン商品購入金額÷全商品購入金額)×100で計算しています。

※3 化学物質は使用していません。

※4 ガス、灯油は使用量が少ないため個別の記載はありませんが、CO₂排出量に含まれています。

当期実績

26期（2022年10月～2023年9月）の環境経営目標と実績、達成状況（全組織対象）は、次表に表す通りです。

環境項目	基準値【24期】 2020.10～2021.9	目標値	当期実績 (増減率)※	達成状況	
二酸化炭素排出量削減	CO ₂ 排出量 (kg)	63,643	62,370 (2%削減)	70,926 (14%増加)	×
	電気使用量 (kWh)	20,178	19,774 (2%削減)	28,859 (46%増加)	×
	ガソリン (ℓ)	13,729	13,455 (2%削減)	11,977 (11%削減)	○
	軽油 (ℓ)	7,706	7,552 (2%削減)	10,664 (41%増加)	×
水使用量 (m ³)	99	97 (2%削減)	104 (7%増加)	×	
産業廃棄物 (kg)	12,596	12,344 (2%削減)	23,501 (90%増加)	×	
一般廃棄物 (kg)	526.8	516.2 (2%削減)	670.1 (30%増加)	×	
グリーン購入 (%)	42.3	43.1 (2%増加)	53.3 (24%増加)	○	
エコ製品 (販売・工事件数)	259	264 (2%増加)	386 (46%増加)	○	

※増減率は目標値との比較による

基準年度との比較で CO₂ 排出量（主に電気使用量）が増加しているのは、従来まで未計上だった EV 車への外部充電分を反映したことが最大の要因です。ただし EV 車の導入でガソリンに比べ約 53% の CO₂ 排出量削減に成功したことがわかり、環境経営実現への導入効果が大きいことが判明しました。

また当期は特に産業廃棄物の増加が目立ちますが、これは太陽光発電システム設置の際に多く排出されたことが主な原因です。当期は県内・近県への大型スーパー屋上（6 か所）を主として年間を通じて全国 33 か所へ設置工事を行いました。一時的に目標達成を阻む要因となりましたが、将来的な地域社会の環境経営改善への貢献は大きいといえます。

なお、中期目標・当期目標で設定している基準値については、次期（27期）の実績がまとも次第、改めて 28～30 期（2024.10～2027.9）の目標を策定し、達成継続に努めます。

5. 環境経営計画及び取組結果と評価

並びに次年度の環境経営目標、環境経営計画

○・・・実施できた △・・・一部未実施 ×・・・ほとんど実施できていない

項目	取組内容	本社 結果	東京 結果	評価	
二酸化炭素排出量削減	P C	PCを省電力モードにする	○	○	全 PC に設定した。
		離席時はディスプレイオフする	○	○	習慣が全社員身につけてきている。
		長期休み中はプリンタ、P Cコンセントのスイッチを切る	○	○	スイッチを切ることが定着してきた。
		使用していないコンセントのスイッチを切る	○	○	ほぼ実施できていた。
	空調	応接間のエアコンスイッチを忘れずに切る	○	○	ほぼ良好で使用後のスイッチを切るように徹底されていた。
		暖房を 20℃に設定	△	△	寒さが厳しい時期には 20℃より高く設定している日が何度かあった。
		冷房を 28℃に設定	△	△	猛暑日は冷房の温度が低い日が何度かあった。
		ウォームビズ活動の推進	○	○	服装を調整している様子が窺えた。
		クールビズ活動の推進	○	○	現場に出ないときは作業着ではなく半袖に着替える社員が増えた。
		エアコンフィルターの定期的な掃除	△	—	定期的な実施ではないが、年末や利用開始時期にはフィルターを掃除した。
	ガス	冬季以外のガス給湯機器使用禁止	○	○	ほぼ実施できていた。
	照明	人がいない時の給湯室、階段、トイレ、倉庫における消灯徹底	○	○	ほぼ良好で消灯が徹底されていた。
		不使用エリアの消灯徹底	○	○	昼間使用していないエリアの消灯する社員が増えた。
		外出前、自分のエリアに人がいない場合、消灯徹底	○	○	ほぼ良好で消灯が徹底されていた。
		残業時の不要箇所での消灯	○	○	退社時に自分のエリアに人がいない場合消灯して帰るようになった。

○・・・実施できた △・・・一部未実施 ×・・・ほとんど実施できていない

項目	取組内容	本社 結果	東京 結果	評価
エコドライブ	社有車に POP を設置しエコドライブの周知・徹底を推進	○	○	点検で実施している確認がとれた。
	効率的なルートを検索	○	○	点検で実施している確認がとれた。
社内設備	ウォーターサーバーのスイッチをこまめに切る	○	○	不在の際は省電力になるようにエコモードに設定した。
グリーン購入	エコマーク、環境に優しい商品を優先的に購入する	○	△	点検で、積極的にグリーン購入を心掛けていることが確認できた。
	詰め替え利用で事務用品の長期使用を心がける	○	○	点検で、積極的に事務用品の再利用を心がけていることを確認できた。
	環境ラベル一覧を掲示しそれを基に購入する	○	○	点検で、積極的に環境ラベル商品の購入を心掛けていることが確認できた。
節水	節水 P O P を貼る	○	○	点検で、実施している確認がとれた。
	水道の栓をこまめに止める	○	○	点検で、実施している確認がとれた。
	洗車時間の短縮、バケツ洗いの強化	△	△	洗車機を利用しつつ、出来る範囲の実施を点検で確認できた。
廃棄物削減	廃棄物の分別徹底	○	○	点検で、ゴミの分別をキチンと心がけていることが確認できた。
	再使用・リサイクルできるものは廃棄しない（現場部材・事務用品）	○	○	点検で、部材・事務用品の再利用を心がけていることが確認できた。
	コピー用紙両面使用の推進	○	○	点検で、コピー用紙両面使用を心掛けていることを確認できた。
	無駄なコピーを減らす	○	○	Web 会議システムの画面共有などを活用し、社内・社外でペーパーレス会議を行うことが増えた。
エコ製品	エコ製品（LED 照明、太陽光発電システム、EV 充電設備等）の販売促進	○	○	エコ製品の販売促進を心がけていることが確認できた。

●次年度の環境経営目標は P7 中期目標 26 期に記載の通りです。

●次年度の環境経営計画は、現環境経営改革の取組を継続し、

環境経営の実現に努めます。

6. 実施している取り組みの具体例

環境経営計画達成のために、社内で実施している様子を一部紹介いたします。



節水 POP をスタッフがよく使う水道の脇に設置しています



出入口のスイッチ近くに節電 POP を設置しています



社有車の助手席にエコドライブ推奨 POP を設置しています



ゴミ箱の上に分別を呼びかける POP を設置しています



複合機にカラー/モノクロ料金を掲示しコスト意識につなげています



本社の屋上に太陽光パネルを設置しています



賞味期限が切れた防災用水を社内清掃等に使用しています



皆がよく利用する場所でコンセント OFF を呼びかけています



社内の証明を随時 LED へ切り替えを行っています

7. エコ事業に関する取り組みと実績

パルコミュニケーションズグループでは、環境経営につながる事業を中心に活動しております。

電気通信工事

LED 販売、交換工事

創業当初から継続しており、弊社の礎を築いた事業です。社名の一部にもなっています。



LED 施工事例

太陽光発電事業

太陽光発電システム施工、 太陽光発電所事業

太陽光パネルの設置・メンテナンスを行います。パルエナジーマネジメントで太陽光発電事業を行っています。



太陽光発電所

電気自動車関連事業

充電設備設置工事、 電気自動車販売コンサルタント

充電設備設置工事を中心に、コンサルタント業務やイベントへの参加/協賛、さらに Youtube 等で情報発信も行っています。



電気自動車充電設備



新潟県内の防災イベント参加の様子



太陽光・蓄電池等完備のモデルハウス

環境に配慮した製品の推進をしつつ、最適なプランの提案を行うことで、消費電力の削減と二酸化炭素排出量削減に大きく貢献し、環境負荷軽減につながっているものと考えられます。また太陽光発電システムの販売・工事によって、昼間の電力需要ピークの緩和や温室効果ガス排出量の削減につなげています。

これらは SDGs 目標達成につながる活動として今後も大切に、維持・継続に努めます。なお、17 あるゴールのうち、パルコミュニケーションズグループの活動と深くかかわっているのは次の6つです。



【 当期の実績 】

本社・新潟営業所	232 件	(+90 件。前期比 163%)
東京営業所	154 件	(+59 件。前期比 162%)
合計	386 件	(+149 件。前期比+48%)

※LED 照明販売・工事、太陽光発電システム工事、EV 充電器・V2H 設置工事が対象

新潟県内の環境フェスティバルや防災イベントに積極的に参加し、電気自動車の普及活動に力を入れて参りました。また、一般市場において電気自動車をもっと多く普及させるため、各種 SNS での情報発信、コンサルタント事業も継続して行っています。本年度は、企業の研修会や SDGs セミナーなどに講師として呼んでいただき、県外へ赴く機会も増えました。

また、パルエナジーマネジメント社で所有する太陽光発電所は合計で 14 ヶ所、当期中は総発電量 1,454,718kwh (前期比 105%) となりました。

今後も再生可能エネルギーについてさまざまな見地から普及を目指すために地域社会に貢献し、環境負荷軽減に役立つ事業の推進に日々努力を重ねてまいります。

8. 環境関連法規等への違反、訴訟等の有無

○・・・遵守している △・・・準備中、取組中 ×・・・遵守できていない

法規名称	要求事項	評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	マニフェスト管理と交付等状況報告、処理業者との契約	○
自動車リサイクル法	車両入替時、適正に処理	○
家電リサイクル法	廃家電の適正処理	○
小型家電リサイクル法	使用済みの小型電子機器等の再資源化	○
新潟市産業廃棄物等の適正な処理の促進等に関する条例	産廃処分委託業者の施設稼働状況の確認	○
東京都廃棄物条例	産業廃棄物管理責任者の選任	○
公共工事発注仕様書	低騒音対策、グリーン資材調達	○
建設リサイクル法	分別解体及び、建設廃棄物の再資源化	○
浄化槽法	浄化槽の維持・管理	○
水質汚濁防止法	貯油施設に関する事故時の措置	○
新潟市火災予防条例	指定数量未満の危険物の貯蔵及び取り扱い	○
下水道法	下水道へ接続する配管等の排水設備の設置義務 (処理区域内)	○
フロン排出抑制法	定期的点検の義務づけ	○
大気汚染防止法	水銀等の排出規制、特定粉じん排出作業の実施の届出	○
石綿障害予防規則	工作物の解体作業を行う時は、石綿等の使用の有無を調査する事	○

自主点検の結果、関連法規における違反、事故等はありませんでした。また、関連当局からの違反の指摘、近隣住民からの苦情・訴訟もありませんでした。

9. 全体の評価と見直し

【見直しの結果】

項目	変更の必要性	指示事項
① 環境経営方針	なし	改めて社内周知を行う
② 環境経営目標	なし	改めて社内周知を行う
③ 環境経営計画	なし	改めて社内周知を行う
④ 実施体制	なし	改めて社内周知を行う
⑤ その他	なし	改めて社内周知を行う

※実施時期：2023年12月

【全体の評価】

基本的な経済活動と環境への両立を図ることは、同時に相反する数値改善を社内に求めることとなり、経営的に難しい側面は否めません。しかしそうした状況の中、環境経営に寄与できる可能性には積極的に取り組んでまいりました。

たとえば環境負荷の低い LED 照明や太陽光に代表されるソーラー発電の導入によって電気使用量を削減し、さらに電気自動車の活用で社用車のガソリン使用量削減につながっています。電気自動車への充電によって電気使用量は上昇傾向にありますが、その課題解決のため、当期は本社屋根に設置している太陽光パネルの発電電力を電気自動車の充電にも活用できるように充電設備を増設いたしました。

その結果、社内では、ときどき屋内モニターに目を向け、天候がよく太陽光で発電がされているタイミングに声を掛け合って積極的に電気自動車の充電を行う場面が多くみられるようになりました。環境経営を意識した、とても印象的な出来事であったといえます。

弊社の場合、LED 照明や太陽光発電、電気自動車充電設備の導入は、その提案も含め事業としてお客様に提供する商材でもあります。日常的な事業活動に邁進することが地域社会の省エネ化・創エネ化に大きく貢献していることは、社員一人一人の中でも確実に環境への意識が積み重なり、日頃の活動に良い影響を与えているものと自負しております。先の具体的な「体験」についても、今後の企業活動に生かしていく所存です。

しかし、会社活動の実績を細かく分析すればまだまだ未達成な部分もあります。エコアクションへの取り組みを通じ、今後も改善に向けての活動を維持・継続する所存です。

さいごまでご覧くださりありがとうございます

会社ホームページでは
その他の取り組みも紹介いたしております

